

北海道札幌あいの里高等支援学校 学校だより

青 藍

令和8年度 第1号 2026年4月24日発行



学びを追究し、地域と共に歩む学校づくり

校長 菅原 靖博

1学期始業式、第11回入学式を終え、全校生徒185名で令和8年度を迎えることができました。コロナ禍の学校を思い出し、当たり前に行えることのありがたさを感じています。学校が始まり2週間あまり経ちましたが、生徒は、自分の夢の実現に向けて全力で取り組んでいます。1年生は、緊張と戸惑いの毎日だったと思いますので、これから始まる連休をとおして、心と体のリフレッシュしてほしいと思います。

さて、新年度を迎えるにあたって、生徒には始業式や入学式をとおして、学校で意識して取り組んでほしいことを伝えました。

1つ目は、「主体的な挑戦をする」ことです。

人は挑戦することで成長すると考えていますので、生徒一人一人が一年間の目標を各自で決め、自分の夢の実現につながる挑戦をしてほしいと思います。成功することもあります、失敗することもあります。失敗から学ぶこともあります。大切なのは、失敗を恐れて挑戦しないのではなく、挑戦することです。

2つ目は、「自他を思いやり、相手の立場を尊重する」ことです。

どんなに時代が変化しても、自分や人の命を大切にすることは変わらないことを話しました。便利な時代となりましたが、人とのつながりという点では難しくなってきました。SNSなどのトラブルが発展し、悲しい事件が起こることも珍しくありません。特にいじめは、いかなる理由があっても絶対に許されないと伝えました。

3つ目は、「心のしなやかさを身に付ける」ことです。

自分のよさを認識し、自分らしさを大切に。人を批判せず、対話と協働を大切に。結果より過程を大切にすることにより、心のしなやかさが身に付いていきます。イメージは、強い風に吹かれてもしなやかに受け流す柳の木です。心のしなやかさは、人と付き合うための一つの力になるため、身に付けてくださいと話しました。

保護者の皆様には、令和8年度学校経営方針をお示しました。学校経営方針の実現に向け、チーム力をもって推進していきます。生徒に話した3つの項目は、チーム全体で共有することが大切であると考えています。本校は、「生徒が主役の学校づくり」という理念のもと、生徒が「学ぶ楽しさ」を実感できる「分かる授業」を追究していきます。また、本校がある地域を大切に学習活動も推進していきます。生徒が学習活動に参加している実感と達成感、経験を積み重ね、地域とのつながりをとおして、生きる力を育てていきます。本年度もあいの里にある学校として、地域の方々に認識され、生徒や教職員が地域の一員としての自覚をもち、地域と共に歩んでいきます。保護者の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願いします。

各学年から

「入学おめでとうございます」



4月9日（木）、少し風はありましたが、例年よりも暖かな気候の中、真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで入学許可をされた72名、北海道札幌あいの里高等支援学校の11期生としての学校生活が始まりました。

特に入学式の練習は行わず、クラスで担任からの短い説明を受ける程度での参加となりましたが、皆落ち着いて入学式に参加しており、頼もしさを感じました。入学式の写真撮影後、クラスでの簡単な自己紹介をしました。

その後、体育館に集まり、背の順で一列に並ぼうとする企画を行いました。初対面で人数が多かったので、最初はどうしたらよいかわからず、立ち尽くしている生徒もいましたが、自ら動ける生徒も少しずつ増え、なんと、6分程度で一列に並ぶことができ、自然と拍手が起こったときに、生徒たちとこれからともに成長していきたいという気持ちがこみ上げられました。生徒の皆さんが早く学校に慣れて、生徒一人ひとりがいろいろなことに挑戦できるように1学年職員一同サポートしていきますので、1年間よろしくお祈いします。



（文責：菊地 系）



「10期生2学年、更なる成長へ」



始業式・学年集会では、先生方の自己紹介とともに、「高校2年生だった頃の自分」を語ってもらいました。持ち上がりの先生も、新しく赴任された先生も、それぞれの青春や失敗談、ちょっとした武勇伝も飛び出し、終始あたたかく、笑いのある時間に。

生徒たちも相変わらずノリよく反応し、この10期生2学年らしい空気がしっくりと感じられました。

学年主任からの話では、2年生は“中だるみ”しやすい時期であり、だからこそ、「自分から動くこと」「自分の役割をやり切ること」「これまでより少し高い目標を持つこと」を伝えました。私たち、2学年団は、生徒たちの可能性を信じて、これまで以上の力を引き出せるような関わりをしていきたいと思ひます。

1学期は、宿泊研修、現場実習・長期インターンシップと盛りだくさん。忙しいからこそ成長のチャンスです。行事を通して、一人ひとりの成長を全力で後押ししていきます。保護者の皆様とも力を合わせながら、実りある一年にしていきたいと考えております。

2学年教職員一同、この学年の生徒たちと、共に歩めることに喜びを感じながら、一日一日を丁寧に進めていきます。どうぞ、よろしくお祈いいたします。

（文責：笹本 大輔）



3年生スタート！



3年生に進級し、教室が3階から4階に変更となったことで少し疲れたような様子の子供、自分のクラスの担任・副担任の先生が誰なのかが気になっている子供など、様々な表情が見られました。

始業式の中で3年生担当の職員が発表されると、見慣れた職員が担当になり喜ぶ子供、新しく赴任したり、今まであまり接する機会が少なかったりした職員が担当になり緊張している子供などがいました。

その後、学年集会を行いました。冒頭で、学年所属の職員から子供たちに一言ずつ挨拶をしました。子供たちは一人ひとりの職員の話真剣に聞いていました。その姿を見て、成長を感じ、嬉しくなりました。

学年集会の中で、3年生になり最高学年となりましたが、偉くなったわけではないこと、後輩に横柄な態度をとらないことを確認しました。その話を聞く姿勢、目の力を見て、この学年の子供たちは後輩のことを思いやれる先輩になれるのではないかと強く感じました。子供たちが日々の学校生活の中に大小たくさんのお楽しみをもち、その楽しみに向かって登校し、様々なことに挑戦し続けられるような学習や環境を整え、子供たちをサポートしていきます。1年間よろしくお祈いします。

（文責：宮丸 恭平）

新転入者あいさつ

みやした ひろかず

宮下 博一 副校長

北海道苫小牧支援学校から参りました。副校長の宮下と申します。「生徒が主役の学校」づくりに努めて参ります。地域の皆様、保護者の皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。私はサッカーやモルックなどで身体を動かすことが好きなので、生徒の皆さんと一緒に身体を動かして活動する事も楽しみにしています。生徒の皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

うじいえ もも

氏家 萌々先生(1年6組副担任)

この度、福祉サービス科1年6組の副担任となりました氏家萌々と申します。主に作業学習と数学・社会・家庭・職業の授業を担当させていただきます。不慣れなところもあると思いますが、生徒のみなさんがより良い学校生活を送ることができるよう、努めていきたいです。よろしくお願ひいたします。

すがわらことは

菅原 采華先生(1年8組副担任)

この度、札幌あいの里高等支援学校に初任で参りました、菅原采華です。学生時代はあい circle で本校に関わっており、教員として再び関わる事ができてとても嬉しく思います。主に1学年の国語と理科、1学年普通科の総合を担当いたします。部活動ではダンス同好会に関わらせていただきます。教員生活一年目のためわからないことが多々ありますが、ともに日々成長しながら生徒の学校生活がよりよいものとなるよう精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

いしざわ まい

石澤 舞 先生(実習助手)

この度、伊達高等養護学校から赴任してきました石澤舞と申します。生徒の皆さんとは生産技術科と一緒に作業させていただくことになりました。作業学習を通して、卒業に向けて必要な力が身に付けられるようサポートするとともに、卒業後の自己実現に向けて少しでも皆さんの成長に貢献できるよう励んでいきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

やまだ しゅうへい

山田 修平先生(2年1組副担任)

上砂川町立中央小学校から着任しました、山田修平と申します。2年1組の副担任と、2学年の情報、生産技術科の作業学習などを担当いたします。小学校で培った、一人ひとりの成長を丁寧に支える姿勢を大切に、生徒の皆さんと向き合えることを楽しみにしています。生徒が卒業後、社会人として自信をもって羽ばたけるよう、私自身も共に学び、成長できるよう精進いたします。まずは丁寧なコミュニケーションを心がけ、生徒との確かな信頼関係を築けるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

うえすぎ ともみ

上杉 智美 先生(2年3組担任)

真駒内養護学校から赴任しました上杉智美です。2年3組被服デザイン科の担任です。授業は、主に国語と数学を担当します。高等支援学校での勤務は初めてです。一步一步考えながら進んでいますが、明るく元気な生徒の皆さんと一緒に学校生活を送ることを、とても楽しみにしています。学校行事はもちろん、日々の学校での生活を大切に過ごしたいと思ひています。皆さんが、様々なことに挑戦し、自分らしく成長していけるよう、全力で取り組んでいきます。よろしくお願ひいたします。

かじ てるみ
梶 照美 専門主任(事務)

白樺高等養護学校から異動して参りました、事務の梶です。皆さんが楽しく充実した学校生活を送れるよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

しもさと りゅうじ
下里 竜司 先生(実習助手)

環境・流通サポート科 実習助手の下里竜司(しもさと りゅうじ)です。旭川高等支援学校から着任致しました。皆さんと共に学校生活を過ごせることを愉しみにしていました。「わくわくどきどき」が詰まっている学校という「場」が大好きです。私は、前の前の仕事で、20年間、北海道警察官をしていました。どうぞ気軽に声を掛けてください。一緒に学校という「場」を愉しみつくしましょう!

よしだ えいじ
吉田 栄治 先生(3年1組副担任)

初めまして。このたび白樺高等養護学校より転勤してまいりました吉田栄治と申します。今年で57歳となり、本校で5校目の勤務となります。これまでさまざまな経験を積んでまいりましたが、新しい学校に赴任するたびに初心に立ち返る思いです。札幌あいの里高等支援学校は生徒数も多く、日々新たな気持ちで教育に向き合っております。微力ではありますが、皆さまのお力になれるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

おがわ
小川 ちさと 先生(3年3組担任)

北海道伊達高等養護学校から本校へ赴任しました小川ちさとです。専門教科は美術で、3年被服デザイン科の担任を任せていただくことになりました。毎日、生徒の皆さんの元気な挨拶や素敵な笑顔に元気をもらっています。私も皆さんに負けないように、元気やパワーを渡せるように前向きに取り組んでいきます。いろいろなことにチャレンジし、進路実現に向けて一緒に頑張っていきましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

わかばやし たくみ
若林 拓実 先生(3年5組副担任)

この度、札幌あいの里高等支援学校に初任で参りました。今年度は3年5組福祉サービス科の副担任として1年間お世話になります。教科は、3年生の社会・情報・職業、福祉サービス科の作業学習を担当いたします。部活動や委員会活動といった場面でも生徒と関わる機会があるかと思ひます。明るい3学年の雰囲気これからこの学校生活が楽しみになっております。不慣れな点が多々ありますが、これから生徒とともに日々成長できるよう精進し、生徒の学習を支援して参ります。これから一年間、よろしくお願ひいたします。

わたなべ けいじ
渡邊 圭二 先生(3年6組副担任)

このたび、北海道余市養護学校から異動してまいりました、渡邊圭二と申します。これまでソフトウェアを開発する会社に勤務した経験があるため、プログラミングを得意としております。これからは、みなさんと一緒に楽しく学びながら、日々の学校生活を充実させていきたいと考えております。また、みなさんが抱えている困っていることや悩みにも寄り添い、一緒に解決していけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。